

## ホームプロジェクト

### Step1 問題発見 ～身近なところから見直してみよう～

生活を振り返り、○・×で自己診断をしよう。ホームプロジェクトに取り組む前に、自分・家庭・地域の現状を見直し、問題を発見する手がかりをつかみましょう。

	内 容	
家庭経営	1. 家庭の一員として責任ある家庭生活を送っている	○
	2. 時間の有効な使い方を心がけている	○
	3. 家族とのコミュニケーションを大切にしている	○
	4. 高齢者や障害のある人の生活や心身の特徴を理解して交流している	○
	5. 生活情報を適切に取り入れ、暮らしに生かしている	○
食生活	6. 一日3回、栄養のバランスを考えた食事を取っている	×
	7. 家庭や地域に伝わる食生活の文化を大切にしている	○
	8. 食品の衛生や安全性に気を付けている	○
	9. 健康を考えた家族の食事づくりができる	○
	10. 環境を考えた食生活を実践している(エコクッキング、ゴミ処理など)	×
衣生活	11. 衣服の購入は計画的に行っている	×
	12. 衣服によって自分の個性を表現できる	○
	13. 自分で衣服管理(洗濯、アイロンかけ、収納など)ができる	×
	14. 衣服の購入、取り扱いの際には、品質表示をよくみる	○
	15. ボタンが取れたり、すそのほつれなどは、自分で直すことができる	○
住生活	16. 部屋の中は整理整頓され、機能的である	×
	17. 住まいの中に心やすらぐ空間作りを工夫している	○
	18. 住まいの安全対策(災害、防犯、救急など)を立てている	×
	19. 地域のまちづくりの取り組みや生活ルール(ゴミ出しの方法など)を知っている	○
	20. 誰もが暮らしやすい住まいや地域とのかかわりについて考えたことがある	○
保育	21. 青年期にふさわしい生活習慣を心がけている	?
	22. 子どもの心身の発達を知っている	○
	23. 現在の子どもの取り巻く環境について考えたことがある	○
	24. 児童文化財(おもちゃ、絵本など)に興味がある	○
	25. 小さな子どもの相手をするのが好きである	○
その他	26. 消費者トラブルに巻き込まれたことはない	×
	27. 資源・環境に配慮した消費行動を実践している	○
	28. 計画的な金銭の運用(無駄づかいをしないなど)ができる	○
	29. 一人で暮らせる自信がある	○
	30. 自分の生活設計(ライフプラン)を考えている	○
合 計		23

○ or ×  
あなたの診断結果、  
○はいくつでしたか？

#### A (21~30)

誰よりも一歩リードした生活を送れていますね！  
緊急を要する生活課題は見あたらなかもしれませんが、さらなる創意・工夫でよりよい生活をめざした研究テーマが考えられそうですね。

#### B (11~20)

ちょっとした改善・工夫で意外な発見があるかもしれませんよ！  
どの分野に×が多いか検討して研究テーマを考えてみては？

#### C (0~10)

どの分野も研究テーマになりそうですね。研究テーマ候補を3つくらいに絞って検討してみても？

年( )組( )番 氏名( )

提出日 1月8日( ) 14:00 まで 期限厳守

- \* SHR終了後家庭科係りが番号順に集めて、4階被服準備室の担当者まで持ってくること。
- \* SHR後すぐに提出できない人は、各自で提出にくること。

## Step4 実施

テーマ

不要な衣類をリサイクル！エコバッグを作ろう。

① See (題目設定の理由: なぜこのテーマに取り組むことにしたのかを書く。)

使いにくい服がたかさんあり、整理整頓ができたおかげで、  
リサイクルしてバッグとして活用したいから。

② Plan (実施計画: P2を参考にする)

- ① 8月28日(土) ~ 8月29日(日) 大量生産・大量消費・大量廃棄の資源とリサイクルの種類について学ぶ。
- ② 不要な衣類を整理し、製作の計画を立てる。
- ③ 実践、締め期間 8月29日(日)

③ Do (実践: 自分で計画したことの結果を記入しよう。)

\*用紙が足りない場合は別の紙を貼付する。

① 持続可能な社会を創るため

- 2015~2030の間に「取り組むべき17の目標、SDGs」にもある。  
目標は「水の責任、気候責任」として目標が定められている。  
資源の再生産が必須の循環として、素直にエコシフト  
がトクになり、生産者、消費者、両者が商品や資源を生産、  
消費する方法を変え、エコシフトを早急に削減してこ  
たらいい。GFNのレポートによると、世界人類の生活を支えるために、地球  
1.75個分の自然資源が必要である。また、世界の廃棄物は2016年  
で推定20.1億トンで、2050年までに、70%増加すると言われている。  
1人ひとりが持続可能な社会を創るためにも、環境問題に向きあ  
いなければならない。

② 母のジーンズバッグが不要であるためエコバッグを作る。

③ 製作時間は20時間。リサイクルも使えるように、不要の布を使った。



5



**Step5 反省**

④ See (反省: 実際を実施してみて、気が付いたこと・反省・感想をまとめよう。)  
 今回「便利な服はアールスタートアップやリサイクルショップを三活用していたこと、新しいものを購入していたが、新しいものを購入せざるも年物ちのど、作るコストが低くはるが、TPO 欲しいものは即ち購入するのどは、一度整理しから

**Step6 評価** ~これまでの実践を振り返って評価してみよう。~ 4/21/10

自己評価	合計20点満点で評価してみよう。	点数
1  題目設定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマは目標を明確に表したもので、興味関心をもって積極的に取り組めるものであったか</li> <li>・テーマを決めた理由は、より良い生活を営むためのものであったか</li> <li>・家族の理解・協力が得られ、自分の力でできるものであったか</li> </ul>	1 2 3 4 5
2  実施計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにそったもので、目標を達成するための改善方法が考えられているか</li> <li>・計画に無理がなく、手順・日程・予算費用などが考えられているか</li> <li>・実施調査や資料収集など、計画的に実施できるようになっているか</li> </ul>	1 2 3 4 5
3  実施状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画にそって実施できたか</li> <li>・問題点の改善・向上のための実践であったか</li> <li>・実施記録がきちんとまとめられているか (メモ、写真、資料、実践・調査結果など)</li> </ul>	1 2 3 4 5
4  反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの内容について、改善・向上ができたか</li> <li>・一生懸命取り組むことができたか</li> <li>・ホームプロジェクトのやり方が理解できたか</li> </ul>	1 2 3 4 5

合計 20 点

今後の課題  
 不要な衣類からリサイクルする知識・技術があまりないため、今後も積極的に取り組んで、作成した知識・技術を高めたい必要がある。  
 昨、環境問題については衣類だけでなく、自分が行える環境に配慮した行動は何かを、行動はしていくこと、今後の課題である。  
 家族・友人のコメント  
 とても良い出来だったと思います。  
 ホットもたく沢あり素材もやわらかく、リバーシブルな所にも工夫がいて良かったです。  
 先生のコメント